

Arcserve UDP 11

新機能紹介



arcserve Japan 合同会社

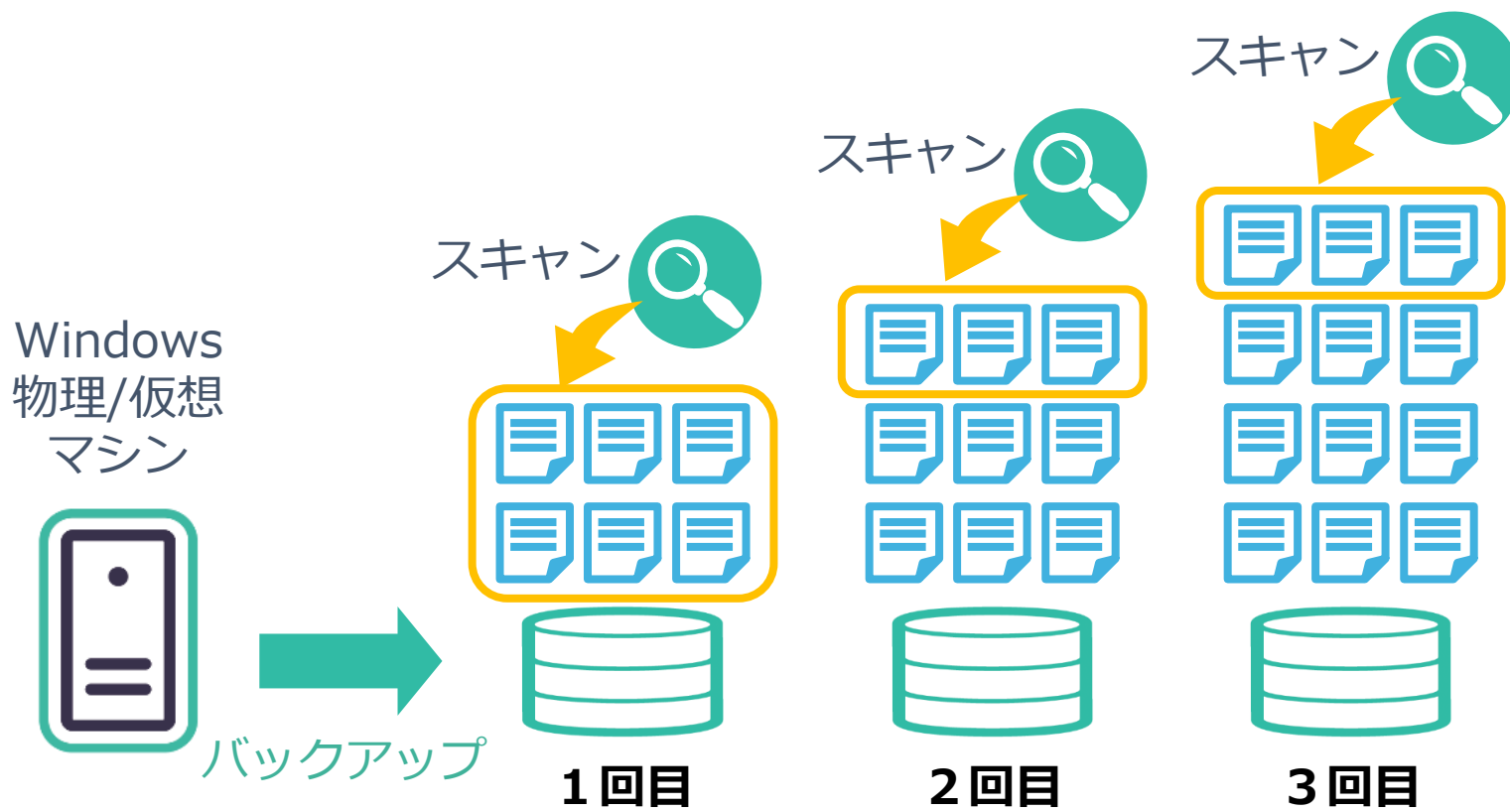
2026年8月

Rev.1.0

arcserve®

アシュアード セキュリティ - マルウェア スキャン の増分対応

効率的なスケジュール スキャンで、マルウェア感染の早期発見が可能に

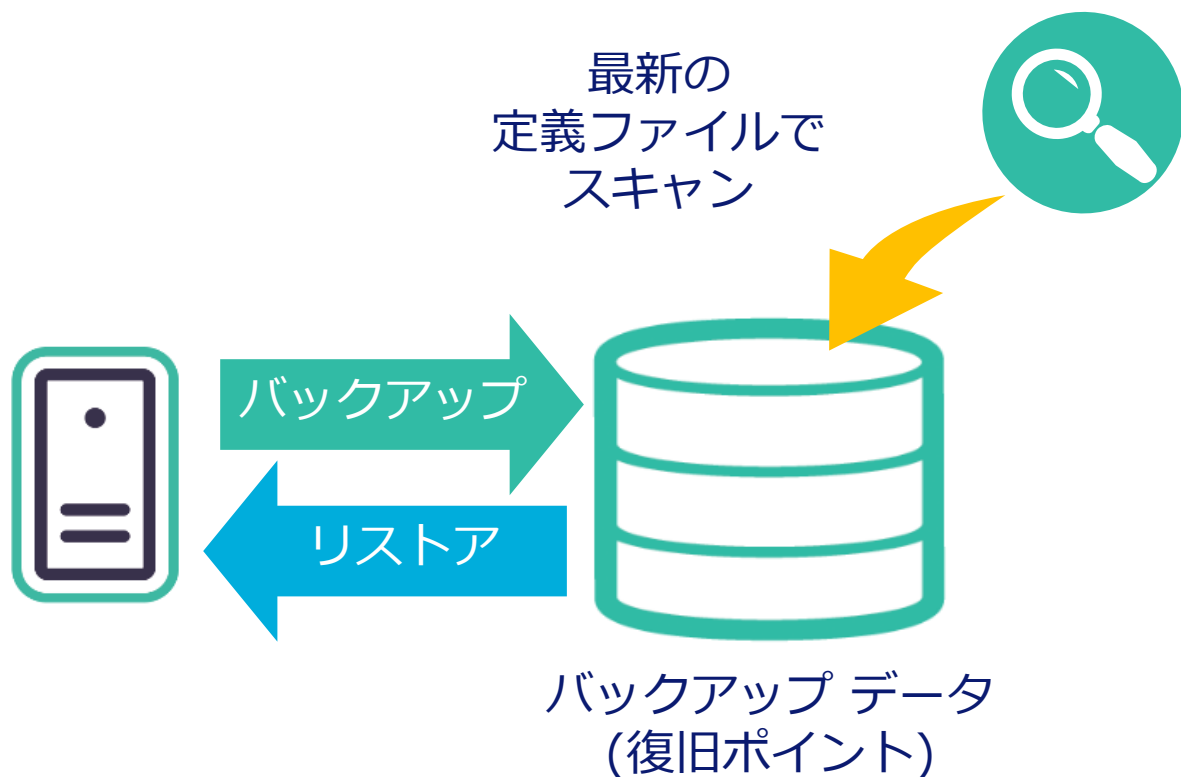


- ✓ 追加/変更ファイルのみを対象としたスキャンで、処理時間が大幅短縮
- ✓ スキャン時間の短縮により、RPSやプロキシ、ネットワークの負荷を軽減
- ✓ 特別な設定は不要

<参考> アシュアード セキュリティ - マルウェア スキャンとは？

お客様に
とっての
価値

安全確認が取れたバックアップ データでリストアできる



- ✓ バックアップ後に自動、またはリストア前など手動でバックアップ データのウイルス スキャンが可能
- ✓ スキャンは安心の Microsoft Defender を利用
- ✓ 最新のセキュリティ定義ファイルでウイルスやワームの侵入検知

※ Arcserve UDP Premium Edition 以上が必要

アシュアード セキュリティ - マルウェア スキャンの新機能に関する質問と回答

Q 増分スキャンを有効にするにはどのような設定が必要ですか？

Arcserve UDP 11 では何も設定しなくても、自動で増分スキャンが実行されます。ただし、フル バックアップ後の初回のスキャンでは、フル スキャンが実行されます。

Q スキャン対象の「増分」は何を基点に判断されますか？

増分スキャンでは、過去のスキャン済復旧ポイントのうち最も新しいものを基点にし、それ以降に作成/変更されたファイルをスキャンします。

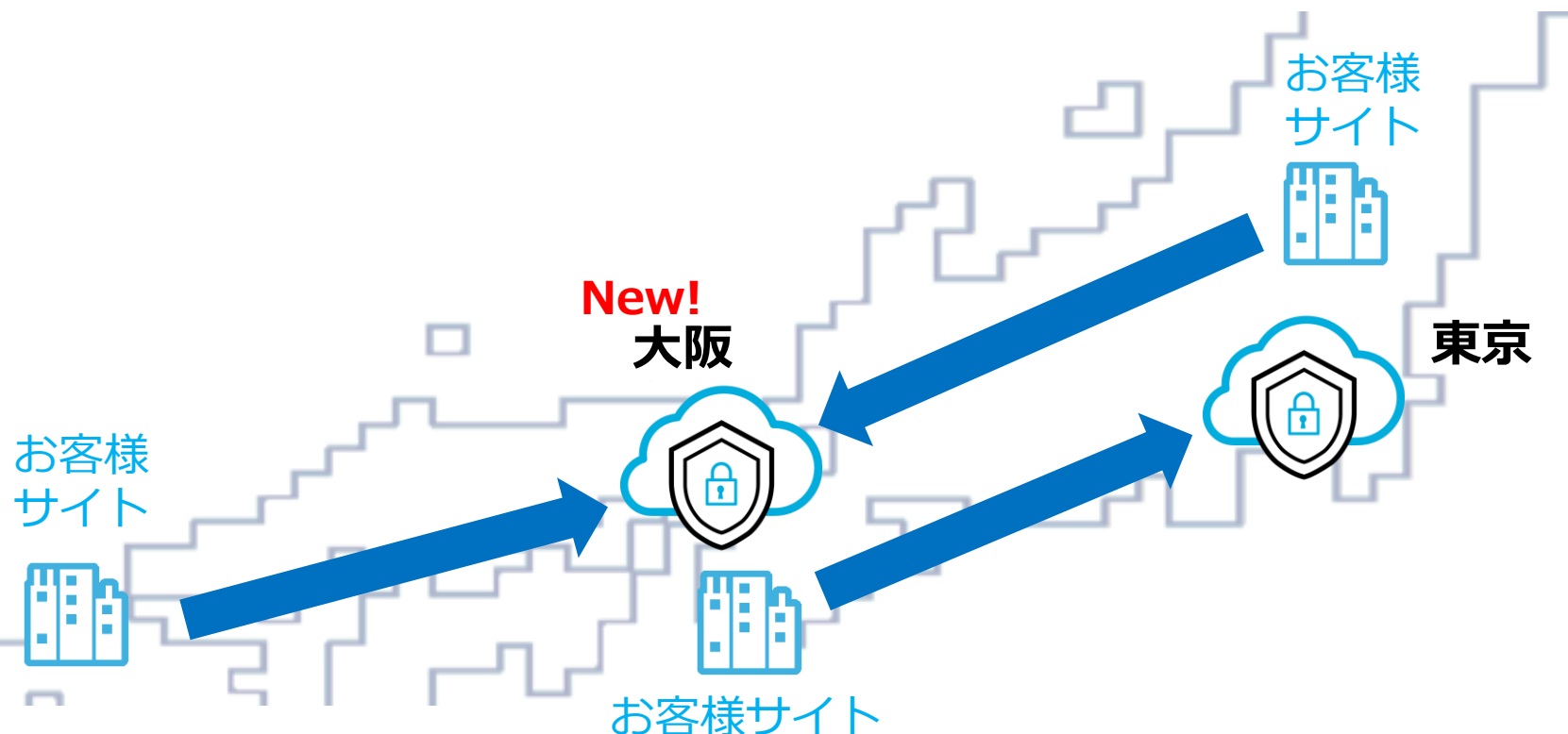
Q ReFS ボリュームもスキャン対象になりますか？

はい、Arcserve UDP 11 より、ReFS ボリュームのバックアップ データ（復旧ポイント）もスキャンされます。

※ アシュアード セキュリティ - マルウェア スキャン に関するその他のよくある質問については
「[Arcserve UDP : アシュアード セキュリティ - マルウェア スキャン のよくある質問と回答](#)」を参照ください。

クラウドCRS / ACS 大阪リージョンの追加

離れたリージョンへのデータ保管で、災害対策とランサムウェア対策を両立

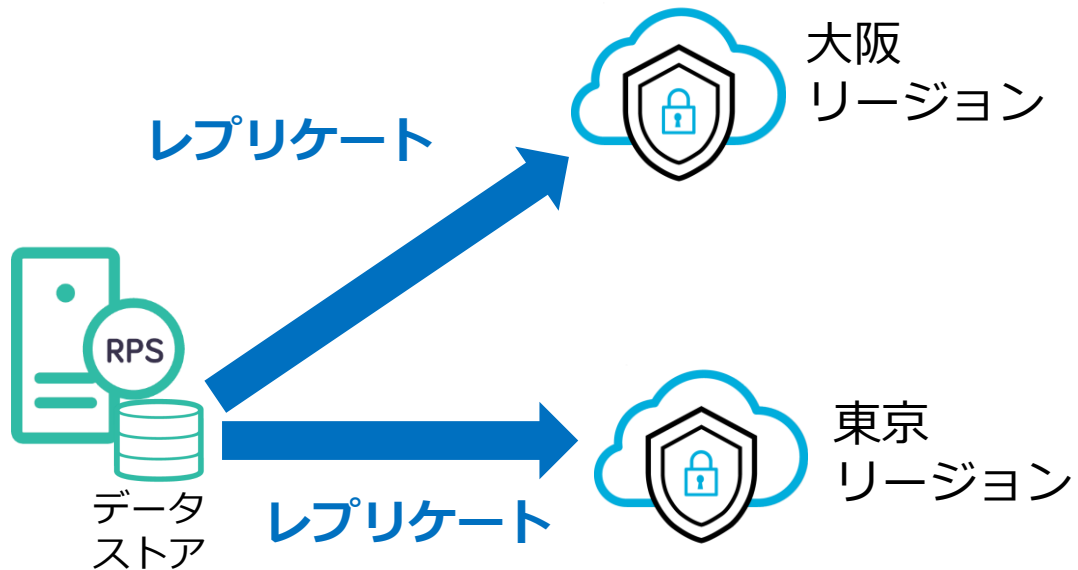


- ✓ 関東または関西地区はそれぞれ離れた距離にあるリージョンの利用が可能に
- ✓ 他の地区はリージョンの選択が可能
- ✓ 1つのサブスクリプション契約で、東京と大阪の両方のリージョンを利用可能

参考 : [Arcserve CRS シリーズ紹介資料 – クラウド CRS ベンチマーク テスト](#)

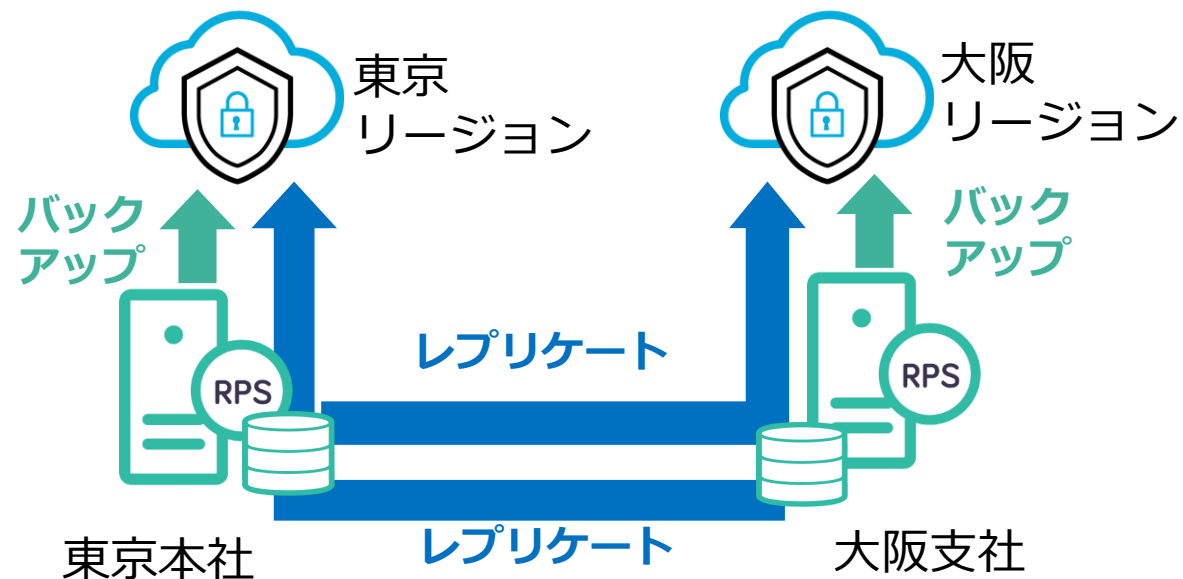
<参考> クラウド CRS 大阪リージョンの活用例

1 対多のレプリケート



2つのリージョンで保管し、イミュータブルなバックアップデータを冗長化

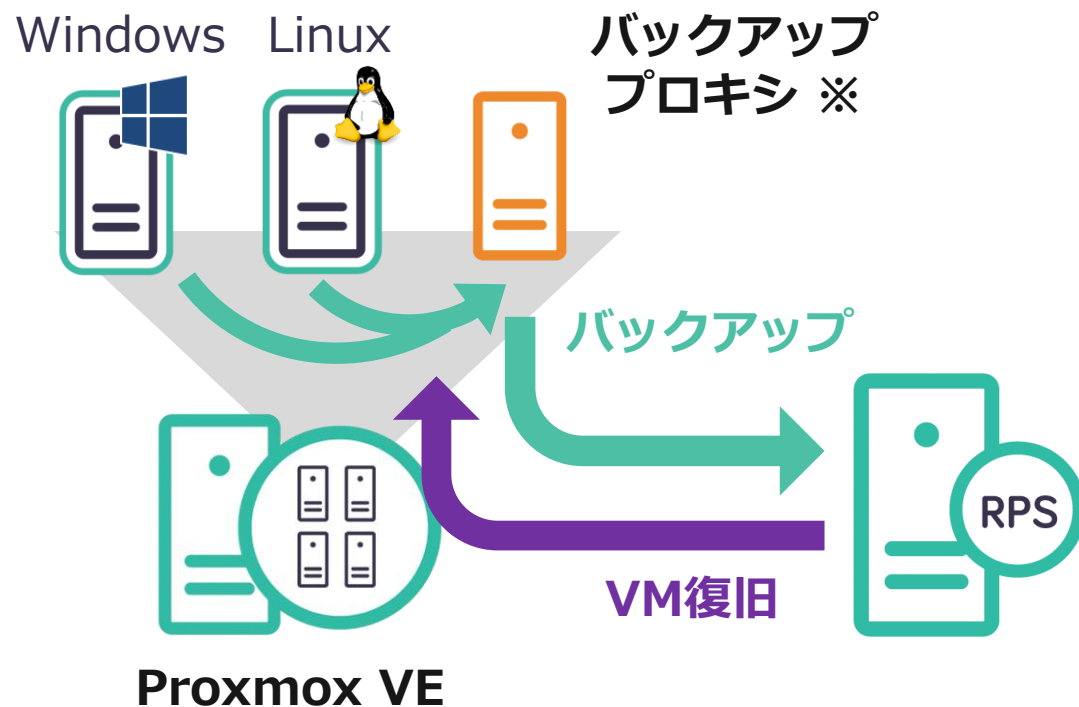
相互レプリケート&バックアップ先



拠点間レプリケートとバックアップ先で使用いざという時に利用可能なRPS側で復旧を実施

Proxmox VE 仮想マシンのエージェントレス バックアップ

手間のかからないエージェントレス バックアップの対象が拡張



- ✓ 第1段階（Arcserve UDP 11.0）では、Windows / Linux 仮想マシンの丸ごとバックアップ & 丸ごと復旧が可能
- ✓ 継続的な増分バックアップ&重複排除にも対応
- ✓ ファイル単位のリストアは、マウントした復旧ポイント経由で
- ✓ Advanced Edition 以上で利用可

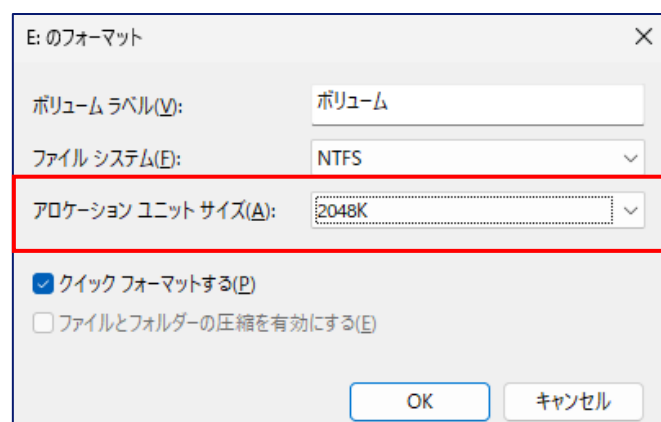
※ Arcserve UDP Linux Agent

その他機能拡張

バックアップ対象サーバ NTFS ボリュームのサポート拡張

- 大きいサイズのファイルの読み書きパフォーマンス向上のため、アロケーションユニット サイズを最大2 MB(※)に拡張したNTFSボリュームのバックアップが可能に

例: アロケーションユニット サイズ
を 2 MB に設定した画面



1TB 以上の
ファイルなど



バックアップ データ
(復旧ポイント)

※ Windows Server 2019 以降で対応

新しいOS などのサポート追加

- **仮想プラットフォームのサポート対象追加**

- Proxmox VE 9.0, 9.1

- **Linux OS のサポート対象追加**

- Red Hat Enterprise Linux/Rocky Linux/AlmaLinux 9.8, 10.1, 10.2
- Oracle Enterprise Linux 9.8, 10.1(RHEL 互換および UEK), 10.2(RHEL 互換)
- Debian 12.12 ~ 12.14, 13.1 ~ 13.4
- Suse Linux Enterprise Server 16
- Ubuntu 24.04 - 6.17.x カーネル
- RHEL 10 系 Linux OS の インスタント VM のサポート

- **アプリケーションのサポート対象追加**

- SQL Server 2025 ※ Express Edition 含む

サポート廃止

- ✓ Windows Server 2008 R2, 2012, 2012R2 ※ Hyper-V含む
- ✓ Windows 8, 8.1
- ✓ SQL Server 2012 ※ Express Edition 含む
- ✓ SharePoint Server 2013
- ✓ Exchange Server 2016, 2019
- ✓ Nutanix AOS 5.15, 5.20, 6.5
- ✓ Nutanix Files 3.7.z, 3.8.z, 4.2.z, 4.3.z, 4.4.z, 5.0.z
- ✓ Suse Linux Enterprise Server 12
- ✓ Debian 8



arcserve Japan合同会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング

購入前のお問い合わせ:

Tel: 0120-410-116（営業時間：平日 9：00～17：30）

E-mail : JapanDirect@arcserve.com

Webフォーム: [お問い合わせフォーム](#)

[arcserve/ja](https://arcserve.jp)   

This document could include technical inaccuracies or typographical errors. Changes are periodically made to the information herein. These changes may be incorporated in new editions of this document. Arcserve may make improvements in or changes to the content described in this document at any time.